

R3教育庁による一次評価

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点			評価理由	
					2点	1点	0点		
適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか								
	施設・設備の保守点検	設備保守点検	点検表の作成(開館日)	×1		1		計画通り実施した。	
		維持・保全	施設の修繕等の随時実施	×1		1		経年劣化による修繕を迅速・適切に実施したほか、臨時休館を利用してお客様の利便向上のための多くの修繕を行った。	
	清掃	日常清掃、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための消毒作業	都民対応部分の清掃(開館日) 職員や都民が触れる場所を1時間に1回消毒	×2		2		日常清掃に加え、感染拡大防止のための消毒をこまめに行った。	
		樹木保護等	草刈り(年2回以上) 枝の剪定(年3回以上)	×1		1		通常業務以外に初めて発生したナラ枯れ対策も迅速・適切に実施した。	
	受付・管理業務	施設警備	通年(年末年始を除く) 施設・巡回の実施	×1		1		計画通り実施した。	
		受付業務	来館者受付、受付周辺の点検(開館日)	×1		1		計画通り実施した。	
	入館者への対策	マスク着用・アルコールによる手指消毒要請 入館時の検温 密を避けた入場制限の実施 東京版新型コロナ見守りサービスの案内	×2	4				入館者のマスク確認・検温・入場制限に加え新型コロナ見守りサービスを実施した。入場制限の実施に伴い、利用者が多い土日祝日は受付や館内が混雑しないよう受付人員を増員したため、混乱は生じなかった。	
	出土品管理	管理表の作成	×1		1			独自のデータベースを用い効率的な管理を行った。	
	人員配置、人材育成	考古学の専門知識を有する職員を2名以上配置 専門性向上等のための研修の実施(年1回)	×2		2			経験があり専門知識の豊富な学芸員を3名配置し、お客様に満足いただける企画や事業を実施した。また調査研究員の育成及び技術の継承を研修により着実に実施した。	
	管理状況	施設の安全性は確保されているか							
		安全性の確保	施設・設備の安全性の確保	消防設備点検(年1回)	×1		1		計画通り実施した。
			防災・防犯への配慮	消防訓練実施(年1回) 消防設備点検(年1回)	×1		1		消防訓練は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、web学習とへ切り替え実施した。AED講習は感染対策を講じた上で実施した。
			緊急時対策	緊急対応訓練実施(年1回) 発生時のマニュアル整備	×1		1		震災を想定した総合防災訓練を1回実施した。
			施設・設備管理に関する書類等の管理	点検表の作成(開館日)	×1		1		点検表が作成され管理されていた。
			事故への対応	施設利用者に影響が生ずる事故等が発生しなかったか 事故等が起きた際の対応や都への報告が適正であったか	×1		1		事故の発生はなかった。
	個人情報保護、報告等は適切に行われているか								
	法令等の遵守	個人情報保護、情報公開の取組	内部規定の策定 研修(年1回)	×1		1		個人情報保護研修を実施した。	
		公文書の管理	規程の策定、管理状況の確認(年1回)	×1		1		規定に基づき管理されていた。	
		東京都サイバーセキュリティ対策基準の履行、利用記録等各種情報の管理	保管場所の施錠 データアクセスのID制御の実施	×1		1		ファイルサーバーについてファイアーウォールによるセキュリティ確保と、保管される情報種別のアクセス制限を適切に実施した。	
		各種法令等の遵守	研修の実施(年1回) 業務に必要とされる関係法令遵守体制の整備	×1		1		汚職等飛行防止等研修を実施した。	
		労働環境確保への取組	社会保険労務士等の外部の専門家によるチェック(月1回)	×1		1		月1回社会保険労務士のチェックを受けた。	
		協定等に基づく都への報告	迅速かつ遺漏のない報告・連絡	×1		1		スズメバチの巣や倒木などお客様に影響のあるものや台風時はすぐに都に報告を入れるとともに迅速に対応を行った。	
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか							
		経営状況(安定的な運営)	収支状況の均衡性	×1		1		健全な財政状況である。	
		経理処理 経理・現金に関する書類等の管理	経理の明確な区分 帳簿、関係書類の整備、保存(指定期間終了後5年間)	×1		1		2回立入検査を行ったが適正に処理されていた。	
		都有財産(物品など)の管理	保全物品整理簿の整備 不適格品、亡失品等の報告	×1		1		帳簿調査を行ったが適正に処理されていた。	

大項目	中項目	確認項目	評価水準	配点	評価 水準を上回る2点/概ね水準どおり1点/水準を下回る0点				
					2点	1点	0点	評価理由	
事業効果	事業の取組・サービス向上	求められる水準ののサービスが提供されているか							
		年間事業	公開事業 (環境の変化など外部要因を考慮)	常設展示 復元住居での火災(年150日)	×1		1		臨時休館が3か月あったものの復元住居の保全のため188日火災きを行った。年間1万人弱のお客様に復元住居を見学いただけた。
			資料貸出	貸出状況等の確認(貸出簿の作成)	×1		1		貸出簿を作成し適切に貸出業務を行った。
		企画事業等	企画内容 (企画の充実度、豊富さ)	イベントの見直し(3つ) 新規事業(1つ)	×1	2			昨年度の状況を鑑みWEB版体験教室やWEB版展示解説を始めて行った。内容も分かりやすいものであった。
			積極的な広報・PR	HPの更新(月1回) デジタル広報の充実	×1	2			新聞広告等に掲載したほか、初めて映画館で広告を載せるなど積極的な広報を行った。
		サービス向上に向けた創意工夫	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を施した施策 アンケートの要望に応えたグッズ設置	×2	4			来館できない方へのサービスとして、動画サイトへの「縄文原体制作り」動画を掲載した他、企画展示の特設ウェブサイトの新設するなど積極的なデジタル化を行った。また、幼児用トイレを全個室に設置するなどお客様の声を迅速に反映させるなど積極的にサービス向上に努めている。	
	利用の状況	求められる水準の利用状況となっているか							
			事業企画の成果	都事業との連携	×2	4			「現場のミカタ」と題し多摩ニュータウン遺跡の「現場」を舞台に、モノが遺跡から出土したの時の様子に目を向け「埋める」「置く」「大量」「謎」の4つの視点を通じて、「現場」に残された人々の営みをわかりやすく紹介した。さらに都事業と連携し『東京都文化財ウィーク事業』として『特別展示』を実施した。
		公開日数	展示ホール、遺跡庭園の通年公開(年200日以上)	×1		1			臨時休館により予定より公開日数は減じたものの、210日実施した。
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか							
		職員の接客対応 (職員の親切さ、説明の分かりやすさ等)	本項目に関する利用者満足度 90%以上	×2	4			アンケートの結果、接遇の満足度は98.9%、掲示などのわかりやすさ:96.4%と接客対応にかかる満足度は非常に高い評価を得ている。	
		設備の快適さ (清潔さ、明るさ、温度設定等)	本項目に関する利用者満足度 90%以上(建物本体に対する事項は除く)	×1	2			築35年の建物ではあるが、アンケートの結果、満足度は展示エリアの快適さ:96.8%、トイレの清潔さ快適さ:94.7%と快適に過ごせるように常に配慮している。	
	苦情等の対応	迅速な対応	×2		2			苦情はほとんどなかったが、要望については迅速に対応できるものから対応した。	

特記事項

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための多くの更なる工夫や配慮が見受けられる。昨年度中止していた図書コーナーや体験コーナーはコロナ過でも安心して使用できるよう内容や使用方法等を変更したり、密にならないよう入館人数をきちんと管理するなど、お客様が安心して施設を利用できるような環境を整えていることは高く評価できる。またアンケートは以前にもまして満足度がアップしており、常に利用者目線にたった事務企画や運営、施設管理や質の高い接遇を行っていることが分かる。
- ・昨年度要望した「来館できないお客様への更なるサービス」として、職員が作成した動画を動画サイトに掲載した他、オンライン上でも展示の雰囲気を感じていただけるよう企画展示の特設サイトを団体HPに掲載するなど、デジタル化の推進を積極的に進めたことも評価できる。
- ・アンケートや昨年度実績の精査結果を業務改善に生かし常にサービス向上に務めている。

要改善事項等

- ・来館しなくても当該施設を楽しんでいただけるようなツール利用や広報普及活動ができるよう工夫された計画・実施をお願いしたい。
- ・今後も引き続き質の高いサービスを期待する。

※管理運営状況の確認結果や各確認項目の評価理由をもとに、総合的かつ具体的に記述してください。

【一次評価結果】

合計点	51	評価	A
-----	----	----	---

標準点	評価基準			
	S	A	B	C
	標準点の1.33倍(小数点以下切上)以上	S-1点以下 標準点の1.25倍(小数点以下切上)以上	A-1点以下 C+1点以上	標準点の0.88倍(小数点以下切捨)以下
40点	54点以上	50点以上	36点以上49点以下	35点以下

【その他】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	<p>・令和3年度の財務業績は、経常収益6,876百万円、経常費用6,999百万円で、当期経常増減は△122百万円の赤字であった。（前期は△91百万円の赤字）</p> <p>・事業別の内訳では、公益目的事業が△67百万円の赤字（スポーツ事業△53百万円赤字、埋蔵文化財事業△14百万円赤字）で、収益事業が△56百万円の赤字、法人会計が0.3百万円の黒字であった。公益目的事業では、スポーツ事業が新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用減により赤字となった。埋蔵文化事業は、コロナの影響により、開館期間の縮小、行事数や学校見学的大幅減、イベント規模の縮小を余儀なくされた。人件費の減少があるものの、感染対策にかかる費用が増加し赤字となった。</p> <p>・現預金1,569百万円と特定資産372百万円があり、資金繰り上の問題はない。公益財団であり、収支均衡の経営を目指して堅実にやっている。</p>
------------	--

※財務諸表上から得られた情報や財務分析結果など、客観的な情報を記載してください。

2. 特命要件の継続

特命により指定管理者を選定した施設については、特命要件とした内容及び施設の位置づけなどを再検証するとともに、事業計画等に示された事業の評価対象期間中の達成度合いや効果等の検証を行ってください。

特命要件の継続	<p><特命要件とした内容></p> <p><特命要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・考古学の専門知識を持つ多くの学芸員が、専門性を必要とする当施設の指定管理業務を適切に行うことができる。 ・都の埋蔵文化財調査研究を担ってきたことにより蓄積した研究成果や最新の発掘情報を保有しており、当施設の出土時の情報や考古学的分類・評価等について精通している。 <p><特命要件の継続状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出土品の展示や案内表示、縄文庭園の管理等において考古学の専門知識が必要であり、それらの知識を持った多くの学芸員が積極的かつ適切に業務を遂行している。 ・財団設立当時より蓄積してきた発掘調査における研究成果や、現在行っている多くの発掘調査の情報も保有している。そのため出土時の情報も熟知しており、考古学的分類や評価について精通している。 		
	埋蔵文化財調査の本部施設として、本施設の設置目的と合致した活用が図られているか	○ 合致	変更あり
	都立埋蔵文化財調査センターの目的を達成するため、考古学の知識と経験を有する学芸研究員を従事させ、埋蔵文化財や史跡の適切な保存及び活用が遂行されているか	○ 適切	適切でない
	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団が調査した埋蔵文化財資料（特に多摩ニュータウン発掘資料）を中心とした展示・情報発信が行われているか	○ 実施	未実施
	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の自主事業と本指定管理者業務が相互に活用され、事業の充実が図られているか	○ 適切	適切でない
	<p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設は埋蔵文化財調査の本部施設として、設置条例に定める目的と合致して活用が図られており、考古学の専門知識を有する学芸研究職員により埋蔵文化財等の保存活用を適切に実施している。 ・発掘調査成果を活用した展示や工夫を凝らした企画事業で東京都全体の埋蔵文化財保護の情報発信を実施している。 ・指定管理業務と共に自主事業も充実させることにより、施設全体の事業の充実と効率化が図られており、特命要件は継続されている。 		